2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上 場 会 社 名　　日本システム技術株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　4323　　URL　https://www.jast.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長執行役員　（氏名）　平林　卓
問合せ先責任者　（役職名）　取締役上席執行役員　　（氏名）　落合　聡　　（TEL）06-4560-1000
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　　2026年12月11日
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家、個人投資家及びアナリスト向け　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	15,337	2.7	1,282	△24.3	1,358	△21.0	745	△32.6
2026年３月期中間期	14,929	12.6	1,693	61.9	1,720	59.8	1,106	64.7

（注）包括利益　2027年３月期中間期　798百万円（△23.4%）　2026年３月期中間期　1,041百万円（　21.4%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	30.26	―
2026年３月期中間期	44.77	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	23,648	16,108	67.8	656.86
2026年３月期	25,303	16,830	66.2	677.71

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　16,027百万円　　2026年３月期　16,752百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	11.00	―	34.00	45.00
2027年３月期	―	15.00			
2027年３月期(予想)			―	35.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,300	5.7	4,150	6.1	4,200	4.5	2,950	12.5	119.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　ー社（社名）ー　　、除外　　ー社（社名）ー

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	24,836,920株	2026年３月期	24,836,920株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	436,819株	2026年３月期	118,019株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	24,646,471株	2026年３月期中間期	24,718,535株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当中間期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（表示方法の変更） …… 9
（中間連結損益計算書関係） …… 9
（セグメント情報等） …… 10

１．当中間期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当社グループ(当社及び連結子会社)の業績は、売上高153億37百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益12億82百万円(前年同期比24.3%減)、経常利益13億58百万円(前年同期比21.0%減)、親会社株主に帰属する中間純利益７億45百万円(前年同期比32.6%減)となりました。

セグメント別の内訳は、以下のとおりとなっております。

(ＤＸ＆ＳＩ事業)

当事業につきましては、売上高97億88百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益17億37百万円(前年同期比4.3%増)となりました。特定の個別案件による収益性への影響があったものの、通信業、金融・証券・保険業等を中心としたプライム案件が堅調に推移したことにより増収増益となりました。

(パッケージ事業)

当事業につきましては、売上高32億４百万円(前年同期比2.9%減)、営業利益８億57百万円(前年同期比23.5%減)となりました。戦略的大学経営システム「ＧＡＫＵＥＮ」シリーズの販売及びＥＵＣ開発等が減収となったことに加え、中期経営計画に基づく成長投資（人材育成・教育投資）及びオファリングビジネス強化に向けたコンサルティング体制等の立ち上げ推進により減益となりました。

(医療ビッグデータ事業)

当事業につきましては、売上高14億10百万円(前年同期比13.0%増)、営業利益１億47百万円(前年同期比23.9%減)となりました。分析サービス及びレセプト点検サービスの好調により増収となった一方、中期経営計画に基づく成長投資（人材育成・教育投資）及び新規事業拡大のための体制強化の推進により減益となりました。

(グローバル事業)

当事業につきましては、売上高９億33百万円(前年同期比0.9%減)、営業損失１億９百万円(前年同期は営業損失２億19百万円)となりました。タイ拠点における受託開発案件等の増収及びマレーシア拠点におけるＳＡＰ導入サポート案件の受注引合い不足による減収により売上高はほぼ横ばいとなった一方、前連結会計年度末にマレーシア子会社に係る固定資産の減損損失を計上したことに伴い当連結会計年度において関連する償却費負担が減少した結果、営業損失が縮小いたしました。

(報告セグメントに帰属しない一般管理費等)

全社費用につきましては、東京本社移転に伴う一時的なコスト増により一般管理費13億51百万円(前年同期比26.5%増)となりました。

（２）財政状態に関する説明

①　資産、負債及び純資産の状況

流動資産の残高は168億39百万円(前連結会計年度末比20億63百万円減)となりました。これは主として売掛金及び契約資産の減少に加え、東京本社移転及び自己株式取得に係る現金及び預金の減少によるものであります。また、固定資産の残高は68億８百万円(同４億７百万円増)となりました。これは主として東京本社移転に伴う建物及び構築物等の増加によるものであります。

流動負債の残高は55億55百万円(同６億45百万円減)となりました。これは主として契約負債が増加した一方で、未払法人税等及び賞与引当金の減少によるものであります。また、固定負債の残高は19億83百万円(同２億87百万円減)となりました。

純資産の残高は161億８百万円(同７億21百万円減)となりました。

②　キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の状況は、期首の資金残高88億10百万円より１億62百万円減少し、86億47百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、22億19百万円の収入(前中間連結会計期間は28億13百万円の収入)となりました。前中間連結会計期間に比べキャッシュ・フローが５億94百万円減少した要因は、主としてその他に含まれる役員退職慰労金及び東京本社移転に係る諸費用の支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、７億82百万円の支出(同42百万円の支出)となりました。前中間連結会計期間に比べキャッシュ・フローが７億40百万円減少した要因は、主として東京本社移転に係る有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、16億７百万円の支出(同７億53百万円の支出)となりました。前中間連結会計期間に比べキャッシュ・フローが８億53百万円減少した要因は、主として自己株式の取得による支出及び配当金の支払額がそれぞれ増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月14日に公表しました売上高343億円（前連結会計年度比5.7%増）、営業利益41億50百万円（同6.1%増）、経常利益42億円（同4.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益29億50百万円（同12.5%増）から変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,111,977	8,904,167
受取手形、売掛金及び契約資産	9,098,892	6,832,179
商品及び製品	111,721	272,983
仕掛品	222,843	178,664
原材料及び貯蔵品	3,373	3,807
その他	374,415	664,102
貸倒引当金	△20,909	△16,606
流動資産合計	18,902,314	16,839,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,698,491	2,296,101
減価償却累計額	△889,410	△883,846
建物及び構築物（純額）	809,080	1,412,255
土地	142,361	17,999
その他	606,299	783,898
減価償却累計額	△479,388	△442,240
その他（純額）	126,910	341,658
有形固定資産合計	1,078,353	1,771,913
無形固定資産		
のれん	160,373	150,350
ソフトウエア	283,256	256,163
ソフトウエア仮勘定	3,318	300
その他	7,704	7,704
無形固定資産合計	454,653	414,518
投資その他の資産		
投資有価証券	1,704,748	1,754,730
退職給付に係る資産	1,066,638	1,069,913
繰延税金資産	668,132	433,413
長期預金	200,000	200,000
差入保証金	1,010,107	1,005,048
その他	261,627	202,454
貸倒引当金	△43,104	△43,011
投資その他の資産合計	4,868,150	4,622,549
固定資産合計	6,401,156	6,808,981
資産合計	25,303,471	23,648,279

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,579,180	1,363,548
１年内返済予定の長期借入金	11,100	11,100
未払法人税等	824,161	264,574
契約負債	505,317	1,512,340
賞与引当金	1,498,990	1,139,669
役員賞与引当金	146,876	34,146
工事損失引当金	114,453	61,943
その他	1,521,847	1,168,625
流動負債合計	6,201,929	5,555,948
固定負債		
長期借入金	43,760	38,210
役員株式給付引当金	100,622	57,888
役員退職慰労引当金	2,200	2,200
退職給付に係る負債	1,017,643	1,023,277
資産除去債務	573,243	576,822
繰延税金負債	9,349	9,162
その他	524,230	275,871
固定負債合計	2,271,050	1,983,432
負債合計	8,472,980	7,539,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,535,409	1,535,409
資本剰余金	1,702,732	1,702,732
利益剰余金	12,642,585	12,544,167
自己株式	△101,491	△758,360
株主資本合計	15,779,236	15,023,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136,788	166,925
為替換算調整勘定	501,804	536,704
退職給付に係る調整累計額	334,376	299,935
その他の包括利益累計額合計	972,969	1,003,566
非支配株主持分	78,284	81,382
純資産合計	16,830,491	16,108,898
負債純資産合計	25,303,471	23,648,279

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	14,929,157	15,337,427
売上原価	10,631,078	11,249,967
売上総利益	4,298,079	4,087,460
販売費及び一般管理費	2,604,919	2,804,949
営業利益	1,693,160	1,282,511
営業外収益		
受取利息	14,911	14,268
受取配当金	5,657	7,905
受取賃貸料	1,662	1,627
為替差益	2,956	－
助成金収入	1,720	466
保険解約返戻金	－	43,951
貸倒引当金戻入額	285	140
その他	4,414	16,040
営業外収益合計	31,607	84,400
営業外費用		
支払利息	3,415	3,599
支払手数料	376	2,887
固定資産除却損	42	936
為替差損	－	407
その他	75	102
営業外費用合計	3,909	7,932
経常利益	1,720,857	1,358,978
特別損失		
減損損失	－	155,798
投資有価証券評価損	24,239	－
特別損失合計	24,239	155,798
税金等調整前中間純利益	1,696,617	1,203,180
法人税等	587,199	433,021
中間純利益	1,109,417	770,158
非支配株主に帰属する中間純利益	2,796	24,476
親会社株主に帰属する中間純利益	1,106,621	745,682

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	1,109,417	770,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,738	30,137
為替換算調整勘定	△75,298	32,810
退職給付に係る調整額	△15,861	△34,440
その他の包括利益合計	△67,421	28,506
中間包括利益	1,041,996	798,665
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,042,267	776,278
非支配株主に係る中間包括利益	△271	22,386

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,696,617	1,203,180
減価償却費	101,203	115,296
減損損失	－	155,798
ソフトウエア償却費	31,437	39,759
のれん償却額	23,470	10,023
顧客関連資産償却額	10,873	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	△592,754	△359,671
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	11,877	6,577
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	5,232	△3,275
受取利息及び受取配当金	△20,568	△22,173
支払利息	3,415	3,599
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	2,251,416	2,284,700
契約負債の増減額（△は減少）	792,169	1,006,729
棚卸資産の増減額（△は増加）	△269,934	△117,516
仕入債務の増減額（△は減少）	△71,920	△219,318
投資有価証券評価損益（△は益）	24,239	－
その他	△565,049	△1,167,137
小計	3,431,727	2,936,573
利息及び配当金の受取額	20,157	20,085
利息の支払額	△3,415	△3,599
法人税等の支払額	△634,668	△734,048
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,813,800	2,219,011
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△9,105	55,876
有形固定資産の取得による支出	△10,530	△893,402
有形固定資産の売却による収入	－	16,292
ソフトウエアの取得による支出	△18,072	△20,137
投資有価証券の取得による支出	△1,127	△1,210
貸付けによる支出	△10,180	△83
貸付金の回収による収入	6,900	－
差入保証金の回収による収入	200	6,204
差入保証金の差入による支出	△1,998	△827
その他	1,552	54,640
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,361	△782,647
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△2,020	－
リース債務の返済による支出	△13,751	△12,150
長期借入金の返済による支出	△5,550	△5,550
自己株式の取得による支出	△58,887	△726,254
配当金の支払額	△670,316	△844,101
非支配株主への配当金の支払額	△3,380	△19,288
財務活動によるキャッシュ・フロー	△753,907	△1,607,344
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34,919	8,651
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,982,612	△162,328
現金及び現金同等物の期首残高	6,742,894	8,810,172
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,725,507	8,647,843

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年６月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式357,700株を取得しました。また、株式給付信託（BBT-RS）においても当社株式を取得しております。その結果、当中間連結会計期間において自己株式が656,868千円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が758,360千円となっております。

（表示方法の変更）

前中間連結会計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「支払手数料」は、金額的重要性が増したため、当中間連結会計期間より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前中間連結会計期間において営業外費用の「その他」に表示していた451千円は、「支払手数料」376千円、「その他」75千円として組み替えております。

（中間連結損益計算書関係）

１.減損損失

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	減損損失（千円）
大阪府枚方市	処分予定資産（社員寮）	建物及び構築物	31,315
	処分予定資産（社員寮）	土地	124,361
	処分予定資産（社員寮）	その他	120

当社グループは、原則として事業セグメントを基準として資産のグルーピングを行っております。

また、本社等、特定の事業セグメントとの関連が明確でない資産については共用資産とし、処分予定資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。上記の資産は社員寮でありますが、売却の意思決定を行ったことに伴い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額155,798千円を減損損失として特別損失に計上しております。

回収可能価額は、売却見込額により測定しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	ＤＸ＆ＳＩ事業	パッケージ事業	医療ビッグデータ事業	グローバル事業	合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
売上高							
１．外部顧客への売上高	9,437,176	3,300,889	1,248,662	942,429	14,929,157	－	14,929,157
２．セグメント間の内部売上高又は振替高	7,445	－	2,801	41,711	51,958	△51,958	－
計	9,444,622	3,300,889	1,251,463	984,141	14,981,116	△51,958	14,929,157
セグメント利益又は損失（△）	1,665,576	1,121,307	194,127	△219,890	2,761,120	△1,067,960	1,693,160

（注）１．調整額のセグメント利益は、全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益又は損失は中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	ＤＸ＆ＳＩ事業	パッケージ事業	医療ビッグデータ事業	グローバル事業	合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
売上高							
１．外部顧客への売上高	9,788,354	3,204,450	1,410,635	933,987	15,337,427	－	15,337,427
２．セグメント間の内部売上高又は振替高	6,907	－	234	38,063	45,205	△45,205	－
計	9,795,261	3,204,450	1,410,869	972,051	15,382,632	△45,205	15,337,427
セグメント利益又は損失（△）	1,737,484	857,526	147,776	△109,223	2,633,564	△1,351,053	1,282,511

（注）１．調整額のセグメント利益は、全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益又は損失は中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

各報告セグメントに配分していない共用資産において、売却の意思決定を行った資産の帳簿価額を回収可能額まで減額し、減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は155,798千円であります。